

## はじめに



周南市は、海の青、山の緑に囲まれた自然豊かな面を持ちながら、石油化学コンビナートのまちとして発展を続けている、自然と産業が調和した美しいまちです。

近年、環境問題は大気汚染や水質汚濁などの問題から、地球温暖化やオゾン層の破壊、酸性雨といった地球規模の問題まで多岐にわたっています。なかでも、地球温暖化は、世界各地で起こっている豪雨災害や大寒波などの異常気象の要因となっているとも言われており、私たちの生活にとって大きな脅威となりつつあります。こうした課題を将来の世代へ残さないためにも、私たち一人ひとりが環境問題を考え、議論し、環境への負荷の少ない循環型社会の構築に積極的に取り組む

ことが、喫緊の課題となっています。

本市では、「恵み豊かな潤いのある環境の保全、創造及び再生と将来の市民への継承」を基本理念とし、平成27年3月に「第2次周南市環境基本計画」を策定しています。環境報告書は、この「周南市環境基本計画」に掲げられた基本施策・重点施策を総合的かつ計画的に推進していくため、毎年、現在の環境状況及び施策の進捗状況を取りまとめ、皆様にご報告するものです。

平成27年8月、櫛ヶ浜地区に中四国初となる「イワタニ水素ステーション山口周南」が開所し、市内において、水素の供給から貯蔵、輸送、利用までの「水素サプライチェーン」が構築されました。全国有数の水素発生都市という本市の地域特性を生かし、水素による持続可能なまちづくりを推進しています。

次世代につながっていく持続可能な未来のまちづくりのため、共に考え、共に行動し、共に喜び、市民の皆さまが、このまちに住んでよかったと思えるよう取り組んで参りますので、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

終わりに、本書が、健全で恵み豊かな環境の保全に向けた市民の皆さまの力強い行動への一歩となり、「豊かな自然をはぐくみ 未来へはばたくまち 周南」の実現に繋がることを祈念するとともに、本書の作成にあたり、ご指導、ご協力を賜りました周南市環境基本計画推進委員会の皆さまをはじめ、関係者の方々に心からお礼申し上げます。

平成30年3月

周南市長 木村 健一郎